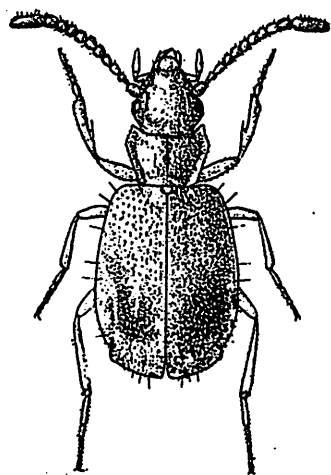


Nat. Hist. Ser. 6. X VII: 330).

その記載文で九州で石の下とか朽ちた樹の樹皮下とかに普通におり、しばしば群居する。また Kashiwagi 及び Maiyasan near Kobe でも得たとある。即ち摩耶山は原産地の1つである。Lewis はさら Bates が *Eustra plagiata* var. *japonica* Bates, 1892としているが異なるとも書いている。*Eustra plagiata* Schmidt-Gobel とは異なるが現在は *Eustra japonica* Bates, 1892なる学名が用いられている。

兵庫県下では本種は広く分布しているように思うのだが今の所北部山岳地域からの記録が知られていない。現在わかっている県下の記録地と筆者の採集地とを此処に紹介しておく。

三原郡灘〔久松, 1973〕。川西市笹部〔仲田, 1982〕。神戸市摩耶山〔Lewis, 1896〕, 木津 (1ex., 29-VII-1984)。多紀郡篠山町王池公園〔岸田, 辻, 1975〕。小野市山田 (1ex., 7-IX-1987)。揖保郡新宮町福原 (1ex., 15-VII-1992, 3exs., 17-IX-1992), 相生市三濃山 (1ex., 3-V-1974)。



エグリゴミムシ *Eustra japonica* Bates

図1. 新昆虫, Vol. 15, No. 8, 1952より
エグリゴミムシ *Eustra japonica* Bates

兵庫県下でのモンキナガクチキムシの分布

(兵庫県産甲虫相資料・274)

高橋 寿郎

モンキナガクチキムシ (*Penthe japana* Marseul) (キノコムシダマシ科) は中型の甲虫で (10-14 mm)。黒色, 前胸背板後縁と小楯板に金毛を有しわりと注意をひく甲虫である。雄の觸角第5節は巾広くなっている。分布は北海道, 本州, 四国, 九州, サハリンとなっている。兵庫県下からの記録はあまりないが恐らく県下に広く分布している種ではないかと思われる。1992年揖保郡新宮町福原でシイタケのホダ木に出来ていたカワラタケに多く見ることが出来た。此処に県下の記録地点と筆者の採

集した記録を紹介しておく。

氷上郡〔山本, 1958〕. 多可郡加美町三谷 (1♀., 29-IX-1974). 神崎郡大河内町川上 (1♂., 22-X-1977). 揖保郡新宮町福原 (1♂, 1♀, 10-V-1992, 2♂, 6♀, 17-IX-1992). 相生市三濃山 (1♂, 20-V-1973, 1♀, 18-V-1973, 2♂1♀, 1-VI-1974, 1♀, 8-VI-1974). 宍粟郡赤西 (1♂1♀, 3-VI-1979, 2♂1♀, 23-VI-1979). 養父郡氷の山〔高橋, 1959〕. 美方郡扇ノ山〔辻, 1963., 辻, 岸田, 1972., 高橋, 1975〕

ヒトクチャケで採集した甲虫類・Ⅲ

(兵庫県甲虫相資料・275)

高橋 寿郎

ヒトクチャケにやってくる甲虫達については筆者2回にわたって発表した(1988, 1990). 今回は1991年に加古川市上荘町白沢で調査・採集した結果を発表したいと思う。

今回の調査・採集も全面的に蜂谷幸雄氏の御協力を頂いた。ここに記して厚く御礼申しあげる。

I. 今回調査地域の概説

今回報告する調査地域は加古川市上荘町白沢(標高約110m)にて今迄報告した各地点より一番南側、海岸線にわりと近い地域である。数本の松に発生していた数10個のヒトクチャケより採集したものである。今迄の地点に比べてここが一番数多くヒトクチャケを見出したが全般にヒトクチャケが小さく全く甲虫のみられなかったものが数多くあった。また9月の調査ではヒトクチャケをほとんど見られず若干見つけたものも小さく虫の入っている痕跡も見られなかった。

調査日は次の通りである(全部1991年)5月9日, 30日. 6月21日, 26日. 9月4日, 12日の6回。

II. 今回の調査でヒトクチャケより採集した甲虫類.

(○印の種は今回初めてヒトクチャケより記録するもの。数字を丸で囲んだのは採集個体数)